



人財育成センター『まなぶるNEWS』

28限目 2024年5月発行 発行責任者：渡部潔



今月の学習会報告 ～ 医療相談課 編～

開催の経緯

院内で虐待疑いの患者が発見された場合、相談を受ける部署が医療相談課（ソーシャルワーカー）です。若手が増えている為、対応時の手順や留意点を確認することにしました。

学び

まずは基本に立ち返り、虐待の種類と定義を学び直しました。「何が虐待にあたるのか。」「虐待認定される判断基準は何か。」など、法律や国の指針、ガイドラインを確認しました。

虐待例では、「これも虐待にあたるのか」と新たに認識したもののや時代と共に変化してきた概念がありました。

そして、虐待疑いのケースが発生した場合の院内での対応手順、個人情報保護法との関係、支援上の視点も確認しました。



抱負

虐待ケースは虐待者と被虐待者の今後の人生を左右するかもしれない責任のある支援です。「知っているつもり」ではなく、概念や法的根拠等を理解し、対応できるようにしたいです。

まなmemo

ループリック評価

今回は、学習の評価に用いられるループリック評価を紹介します。ループリック評価を使ったことのある方は、どのくらいいるでしょうか？言葉としては知らなくても、これを使って評価した、されたという方は結構いるかと思います。

研修医の評価には、すでに使っているのですが、その良いところを活かすためには、評価者と学習者がループリック評価の内容をよく理解して、相互に評価することが必要なようです。評価者にとっては、どのように成長してほしいかを言語化して伝えることができ、学習者にとっては、次に求められるレベルが言葉になっていると、これからすべきことを明確にしやすくなります。なんでもそうですが、ただ、やっただけでは活かせないんですね。

内科外来研修評価表（指導医用）

評価時期： 年 月 ～ 年 月（病院） ※研修修了にステップ2まで終了 研修医名： / 指導医名：
【評価時期】 外来研修終了時に評価をお願いします。 【評価方法】 振り返りシートをもとに、▼プルダウンメニューより各項目1か所に○をお願いします。 ※赤字は必須記入項目です

評価項目	到達レベル 評価方法	到達レベル			初期研修終了到達レベル	後期研修レベル
		STEP1終了到達レベル	STEP2終了到達レベル	STEP2終了到達レベル		
情報収集	-	病歴を適切に聴取することができる	病歴を適切に聴取し、それらを整理し問題点を抽出できる	病歴を適切に聴取し、それらを整理し問題点を抽出できる	病歴を適切に聴取し、それらを整理し問題点を抽出できる	病歴を適切に聴取し、それらを整理し問題点を抽出できる
診察	-	病歴に準じて適切な問診で効果的な診察を行うことができる	病歴に準じて適切な問診を行い、異常所見を抽出し問題点を抽出できる	病歴に準じて適切な問診を行い、異常所見を抽出し問題点を抽出できる	病歴に準じて適切な問診を行い、異常所見を抽出し問題点を抽出できる	病歴に準じて適切な問診を行い、異常所見を抽出し問題点を抽出できる
検査・治療	-	基本的な検査方法、合併症などをふまえて適切に検査・治療を行うことができる	一般的な病態において適切な検査・治療を指示し、安全に行うことができる	一般的な病態において患者の状態に合わせた適切な検査・治療を指示し、安全に行うことができる	一般的な病態において必要とされる検査・治療を行うことができる	複雑な病態において、病態を簡明化するに準じて必要な検査・治療を指示し、安全に行うことができる
記録	-	POM形式で診療録を作成することができる	診療内容を適切な適切な医学用語を用いて記録することができる	診療内容を適切な適切な医学用語を用いて記録することができる	診療内容を適切な適切な医学用語を用いて記録することができる	診療内容を適切な適切な医学用語を用いて記録することができる

右：初期研修医の内科外来研修評価票の一部抜粋

教育現場でも使われることが多くなっているようです。

評価基準を明確にすることで、誰もが納得できる評価ができます